

# 平成29年度事業計画

東葉高速鉄道株式会社

平成29年度の事業の実施にあたっては、「安全・自立・共生」を基本施策とし、安全を最優先する姿勢を一層強固なものとしながら、引き続き経営改善に努めるとともに、地域に根差した企業としてお客様のニーズを的確に捉えた事業展開を図ってまいります。

## 1. 安全輸送の確保

鉄道事業者として最大の使命である安全輸送を確保し、開業以来20年間の運転無事故記録を今後も継続すべく、引き続き施設の適切な保守管理や安全管理体制の更なる強化等により、お客様が安心して利用できる鉄道を目指します。

- (1) 高架橋耐震補強工事の実施
- (2) ロングレール交換工事の実施
- (3) 北習志野駅、船橋日大前駅及び八千代緑が丘駅の駅構内防犯カメラ・モニタの更新
- (4) ATC地上装置の更新（設計）
- (5) 北習志野駅総合防災盤の更新
- (6) 東海神駅及び北習志野駅の消火ポンプ・スプリンクラーポンプの更新
- (7) 危機管理対策や安全輸送の確保につながる社員教育・訓練の実施
- (8) 異常時総合訓練の実施など全社的な取り組みによる安全管理体制の強化
- (9) 乗務区移転工事の実施（継続事業）

## 2. サービスの向上

多様化するお客様のニーズを的確に捉え、お客様の視点に立った質の高い輸送サービスの提供に努めます。

- (1) 全駅への自動定期券発売機の設置（平成30年度供用開始）
- (2) 飯山満駅及び船橋日大前駅のトイレ改良
- (3) 東海神駅、北習志野駅及び八千代緑が丘駅の案内看板の更新
- (4) 村上駅及び東葉勝田台駅への誘導チャイムの整備
- (5) 「お客様の声」を反映したサービス向上対策の実施

## 3. 財務体質の改善

業務委託内容の精査等により経費を節減するとともに、長期債務に係る金利変動リスクの低減を図り、早期に健全経営が確立できるよう努めます。

- (1) 日常業務の委託先や契約内容の見直し等による経費の節減
- (2) 超長期債の導入による金利変動リスクの低減

#### 4. 運輸収入の確保

当社線の利用者誘致を図るため、企画乗車券のPRや新たな導入等を積極的に行い、運輸収入の増加に努めます。

- (1) 企画乗車券のPRや新たな導入による鉄道利用の促進
- (2) 情報誌「プチトリ」の発行による当社及び駅周辺情報の発信（年4回）
- (3) 沿線イベント等を通じた東葉高速線の利便性PR

#### 5. 関連事業の推進

所有する未利用地や施設を有効に活用し、関連事業による増収に努めます。

- (1) 駅構内や高架下への新規店舗等の誘致による貸付料収入の確保
- (2) 駅構内や列車内への広告ポスター等の掲出による広告収入の確保
- (3) テレビ・映画への撮影協力による施設使用料の確保

#### 6. 人材育成

社員教育を積極的に推進し、会社を担う人材の育成や技能の習得を図ります。

- (1) 職場内研修の充実及び職場外研修への参加
- (2) お客様へのさらなる接遇及び安全性の向上を目指した社員教育・訓練の実施

#### 7. 地域との共生

当社線に親しみを持っていただくための各種イベントの開催や、地域に根差した企業としての社会的な役割を踏まえ、地域への貢献・地域との共生に努めます。

- (1) 沿線地域が持つ魅力や当社施設を活かしたイベント「東葉健康ウォーク」「東葉サマーコンサート」「東葉家族車両基地まつり」「飯山満駅ふれあいフェスタ」の開催
- (2) 駅公設掲示板や行先表示器等を活用した地域活動への積極的な支援
- (3) 船橋アリーナをホームアリーナとするプロバスケットボールチーム「千葉ジェッツふなばし」への支援

以 上

## 平成 29 年度 損益収支予算

(単位：百万円)

区 分		予算額
経 常 損 益	営業収益	16,020
	旅客運輸収入	15,430
	運輸雑収	591
	営業費用	10,949
	営業費	6,369
	減価償却費	4,580
	営業利益	5,071
	営業外損益	△ 2,765
経常利益		2,306
特別損益		0
法人税等		749
法人税等調整額		△ 549
当期純利益		2,106

※記載金額は各項目別に四捨五入して表示

## 平成 29 年度 設備投資予算

(単位：百万円)

区 分	予算額	備 考
安全対策	1,669	高架橋柱耐震補強 他
増収対策	28	駅構内店舗設置 他
サービス向上対策	935	トイレ改良工事(飯山満駅、 船橋日大前駅) 他
その他	129	パソコン及びサーバ等リプレース 他
合 計	2,760	